

表4 学習・教育到達目標とその評価方法・評価基準（H26年入学者）

学習・教育到達目標	評価方法・評価基準	共通基準1(2)の(a)～(i)との対応 ◎：主体的 ○：付随的
A 数学、自然科学などの基礎学力の修得と新しい科学技術を吸収・深化させる能力	数学、自然科学などの学問分野において、農薬土木学の専門科目の授業が理解できるレベルの基礎学力を身につけるとともに、新しい科学技術を抵抗無く受け入れ、これを応用できる基礎能力を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 基幹教育 】微分積分学、線形代数、無機物質化学、有機物質化学、細胞生物学、集団生物学、自然科学総合実験、物理学概論A・B（もしくは基幹物理学IA・IB） 【 専攻教育 】物理数学、数値解析学、気象学	(c) ◎ (d) ◎
B 多様な文化の存在と現代社会の抱える諸問題を客観的に理解できる能力	多様な文化や価値観が存在する複雑な現代社会における実務上の諸問題を、先入観にとらわれず客観的、多面的に理解し判断できる能力を評価する。具体的には、下記の主要科目を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 基幹教育 】文系ディシプリン科目（2科目）、高年次基幹教育科目（1科目）	(a) ◎ (b) ○
C 農業土木技術者として必要な知識・技術の修得	C1 農業土木学の専門基礎、特に土質力学、水理学、構造力学の理解 デザイン能力育成の大前提となる土、水、基盤、環境に関連した基礎学力を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 専攻教育 】物理数学、水理学Ⅰ、土質工学Ⅰ、土壌物理学、構造力学Ⅰ、構造力学Ⅱ、水理学Ⅱ、土質工学Ⅱ、鉄筋コンクリート、生物生産環境工学実験Ⅰ、生物生産環境工学実験Ⅱ	(d) ◎ (e) ○
	C2 土、水、基盤、環境に関する計画・設計の基礎の理解 実務上の諸問題を解決する際に必須となる土、水、基盤、環境に関連した専門的な知識、技術を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 専攻教育 】土壌学、気象学、測量学、測量学実習、生物生産環境工学概論、灌漑工学、農地環境工学、排水工学、農業気象学、水環境工学、利水工学、農地保全学、水文学、卒業研究	(d) ◎ (e) ○
	C3 実験や調査の計画・実行、データ解析およびレポート作成の能力 実務上の問題点と課題を理解し、これに対して実験または調査を計画・実行するとともに、データを正確に解析・考察し、かつ説明できる能力を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 専攻教育 】測量学実習、生物生産環境工学実験Ⅰ、生物生産環境工学実験Ⅱ	(d) ◎
D 社会人・職業人として必要な知識・技術の修得	D1 遵守しなければならない技術者倫理の理解 技術が社会や自然に及ぼす影響を理解し、安全性や技術者の責任（遵守すべき倫理や法）について自分の考えを述べるができる能力を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 専攻教育 】技術者倫理	(b) ◎
	D2 責任と義務を共有し、効果的にチーム活動ができる能力 与えられた制約の中でチームの一員として計画的に共同作業を進め、結果をまとめる能力を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 基幹教育 】自然科学総合実験 【 専攻教育 】測量学実習、生物生産環境工学実験Ⅰ、生物生産環境工学実験Ⅱ、農場実習Ⅴ	(e) ○ (h) ◎ (i) ◎
	D3 英語を主とした語学力ならびにコミュニケーション能力 英語を主としたコミュニケーションの基礎能力（英語による初歩的なプレゼンテーション能力）と英語で書かれた技術資料の調査能力の向上度を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 基幹教育 】第一外国語、第二外国語、 【 専攻教育 】科学英語	(f) ◎ (i) ○
	D4 情報処理技術の修得。 パソコンの文書作成ソフト、表計算ソフト、電子メールの利用法、インターネット等の情報閲覧方法、プログラミング言語の利用法に関する基礎能力を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 専攻教育 】数値解析学、多変量解析入門、生物生産環境工学実験Ⅰ、生物生産環境工学実験Ⅱ	(c) ◎
E 問題発見・解決能力ならびにプレゼンテーション能力。	E1 課題を設定し、実行計画を立てるとともに、それを遂行する能力。 課題を見つけ、種々の科学、技術および情報を総合して実行計画を立て、与えられた制約下でこれを実行する能力を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 基幹教育 】基幹教育セミナー、課題協同学科目A、課題協同学科目B 【 専攻教育 】地域環境問題演習、卒業研究卒業研究	(d) ○ (e) ◎ (h) ◎
	E2 課題への取り組みを自主的、継続的に遂行する能力。 課題解決に必要な科学、技術および情報を自ら取捨選択し、自主的、継続的に取り組みを遂行する能力を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 基幹教育 】基幹教育セミナー、課題協同学科目A、課題協同学科目B 【 専攻教育 】地域環境問題演習、卒業研究卒業研究	(g) ◎
	E3 課題への取り組み結果をまとめて発表する能力 与えられた制約下で課題への取り組み結果をまとめ、これを論理的に文書化するとともに、効果的にプレゼンテーションする能力を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 基幹教育 】基幹教育セミナー、課題協同学科目A、課題協同学科目B 【 専攻教育 】地域環境問題演習、卒業研究卒業研究	(e) ○ (f) ◎ (h) ◎
F グローバルな社会の中で、特に九州地域やアジアモンスーン地域における農業の展開に係る農業土木技術者の役割を認識できる能力	特に本学の地理的特性から九州・沖縄地域やアジアモンスーン地域を対象に、地球的な視点から技術者の役割を多面的に理解できる基礎能力を評価する。具体的には、下記科目（表2・3中の◎印の科目）を修得していることにより、当該目標を達成したと評価する。 【 専攻教育 】農場実習Ⅴ、熱帯作物・環境学概論、卒業研究	(a) ◎ (d) ○ (f) ○

注意：九州大学では、成績を5段階（A・B・C・D・F）で評価するGPA制度を平成27年度より導入しています。上記科目いずれもGPAで成績を評価し、詳細は各授業科目のシラバスに記載されています。